



病院長新任ご挨拶

本年7月、末石眞名誉院長の後任として、下志津病院長に就任いたしました。これまでは国立病院機構千葉医療センターに脳神経外科医として勤務し、本年4月より3ヶ月間は下志津病院特命副院長を併任しておりました。どうぞよろしくお願いいたします。

下志津病院には長い歴史があり、特に重症心身障害医療、筋ジストロフィー医療につきましては、半世紀にもわたる実績があります。ボランティアの皆様を含めたいろいろな職種の人たちが力を合わせて、現在も数多くの患者さんに最良の医療を提供しています。重症心身障害では入院治療の他に、短期入所事業、日中一時支援事業、など在宅支援の先進的取り組みも行っています。筋ジストロフィー診療はちょうど今から50年前、1964年に遡り、日本で最初に始めた2病院のひとつです。

下志津病院はまた、膠原病、リウマチ、小児喘息、アレルギーや、それらに関連した整形外科診療、あるいは消化器内科、神経内科、外科など先進的、専門的な医療を提供できる施設でもあります。リウマチ膠原病センターも設立され、遠方から紹介され最先端の治療を受けにこられる患者さんも少なくないです。小児喘息、小児生活習慣病などでは特別支援学校と連携して施設療法、生活支援を行っており、小児食物アレルギーについても入院検査指導等、高度医療を提供しております。

近年、人口の急速な高齢化が進み、医療介護制度に大幅な変革が始まっています。千葉市周辺地域は、2025年までに、医療必要度が25%増、介護で100%増、2倍の需要が見込まれております。私は急性期病院の千葉医療センターに24年間勤務して参りました。千葉市では救急車の出動回数は年々増加し、年間5万回を超えています。高齢化に伴い救急搬送はさらに増加することが予想され、いずれ急性期病院では急性期診療（1週間程度）のみを行い、その後必要があれば回復期あるいは亜急性期の診療を行う施設に移って、継続診療を受けるといようなことをすすめる方向です。千葉市に限ったことでなく、全国で、ひとつの病院で全てを行う一病院完結型でなく、地域の中で病院の役割を分担する地域包括型医療をすすめて高齢化による医療介護のニーズの増加に対応しようと国は考えています。

下志津病院は、四街道市を中心とした地域で、一般診療のほか、小児科では、小児救急にも力を注いでおります。また、地域の各種診療施設、介護施設等と意見交換を行う地域連携の会を開催して連携を深めたり、年2回イトーヨーカドー四街道店のご厚意で会場をお借りし、看護の日記念イベントと下志津病院秋祭りという一般向けのイベントを開いたりなど、活気ある活動が行われています。私自身四街道市の出身であり、四街道あるいはその周辺の施設、住民の皆様にも少しでもお役に立つことがあれば、という気持ちでおります。

千葉市周辺には、下志津病院のほか、千葉医療センター、千葉東病院、下総精神医療センターと、相互距離で10km以内に4つの国立病院機構施設があります。これからは国立4施設での施設間協力を今より進めて行こうという動きがあります。それぞれの病院には特徴ある診療分野があり、全施設が協力、連携することで診療レベルがさらに向上することが期待されます。

下志津病院ではこの数年、高性能MRI装置の導入、電子カルテの導入等、施設や医療機器の整備を進めて参りました。さらに病院機能を高め、信頼される病院でありたいと考えております。どうぞご支援、ご協力よろしくお願ひ申し上げます。



病院長 石毛尚起



平成26年度新人看護師

看護部長挨拶

平成26年4月1日付けで千葉医療センターより、昇任でまいりました看護部長の稲田美枝子と申します。私は、平成21年まで9年間、下志津病院で看護師長として、勤務した経験があります。再びこの病院で仕事が出来ることを大変うれしく思っております。

下志津病院は、重症心身障害、神経・筋疾患に関する専門医療、免疫異常に関する専門医療、成育医療に関する専門医療、そして地域の方々のための一般診療を行っております。この特徴ある医療の推進と看護の質の向上に向け、看護部の重点課題として次の3つの事に、取り組んでいます。

1つ目は看護師確保と人材育成です。看護師確保についてはそのほとんどが、実習の受け入れ、インターンシップを通じた採用が主となっています。今年度は8校から実習生を受け入れています。臨地実習では、当院の特徴を生かし患者とじっくり向き合う看護師の姿勢や、専任体制での丁寧な指導が、実習生から良い評判を頂き就職につながってきています。人材育成では、院内教育の充実です。研修生自身の動機付けと、集合教育と現場教育の連携を目標にしています。集合教育で学んだことを、現場でどのような時に生かすか、現場の指導体制がカギとなります。研修のねらいを、係る指導側がしっかりと理解し指導する能力を向上させる必要があります。経験の重ねた職員はさらにスキルアップできるような研修への参画を勧めます。職場環境では、夜勤回数の軽減、超過勤務の縮減、個々のワークライフバランスを考慮した勤務計画ができるよう、これからも看護師確保、業務の改善に努力してまいります。

2つ目は、病院経営への参画です。2025年を見据えた医療提供体制改革が示され各病院における機能分担、地域との連携強化が求められています。当院が地域の方々から何を求められているのか、また地域に何を期待してもらうのか、あらためて考える機会がますます必要となります。当院の看護部の強みである院内認定看護師、小児アレルギーエドゥケーター、退院調整看護師、感染管理認定看護師、医療安全係長等々の専門性を生かした活躍が、地域への貢献につながるよう計画していきたいと考えています。

3つ目は、患者満足度の向上を目指した看護の質の向上です。小さな変化をも見逃さない自慢の看護を提供している重症心身障害看護、今を生きる患者さんに寄り添い支えになる看護を提供する筋ジストロフィー看護、子供から大人への成長をともに歩む小児看護、時間をかけて患者さんと向きあえることが喜びである内科看護、周手術期看護など受け持ち看護師の役割責任と患者参加型看護計画の実施に取り組み、これまで以上に患者さんが安心して療養生活を送れるような体制づくりを目指します。障害者施設基準7対1の人員配置をめざし手厚い看護の提供が患者満足度向上につながります。時には謙虚に反省し改善する部分もありますが、看護師である私たちは、内外に胸を張って誇れる医療や看護を目指していきます。皆さんの御協力を是非お願いします。

看護部長 稲田 美枝子

院長退任にあたって

昭和62年10月に、千葉大学より下志津病院に赴任して、すでに26年間になりました。

赴任時には、病院全体の医師数は今よりかなり少なく、また、看護師も現在よりかなり少なく、事務職も少人数でした。しかし、病棟は現在よりも2病棟多い、13病棟ありかなり多くの入院患者でありました。

歴代の院長の努力で、しだいに、内科、小児科、整形外科、神経内科、外科、麻酔科、リハビリと医師がゆっくりですが、増えて、また、診療も高度に専門的になっていきました。

当院の特徴である、重症心身児者、筋ジストロフィー医療でも、その診療内容はかなり高度になり患者の重症度も大きくなっています。

小児科では、私が赴任したころは、しばしば、小児喘息患者が入院し、その細い血管の確保に苦勞をしたものでした。小児喘息では西牟田名誉院長などのご努力もあり、その治療が劇的に改善しています。むずかしい血管の確保はすでに懐かしい思い出になっています。ほとんど入院も必要がなくなり、病棟も2個病棟が閉鎖となっていました。これはむしろ、喜ばしい事と思っています。

外科では、血液透析も行われておりました。私も血液透析の研修も受けましたが、しばらく前に中止となり、これも、なつかしい思い出であります。その後、リウマチ、膠原病、食物アレルギーなどの診療、人工関節の手術などなど新しい医療もどんどん取り入れられました。

私の院長就任期間は2年3ヶ月であります。この間は、私にとって、大変密度の濃い期間でありました。電子カルテの導入が行われました。電子カルテはすばらしい点があれば、まだまだ、使い勝手の悪い点も多くあります。個々人のカルテを開けると同時に、検査結果を提示するよう改善しました。また、医師記載と処方のみ5ないし9回分を一度に閲覧できる画面の作成も行いました。これらで、かなり使い勝手が改善するものと思っております。医療を取り巻く環境が激変しつつある時期でありましたが、いままで、26年ものあいだ、無事に勤められました。これも、皆様の支援のおかげであります。ここに、御礼申しあげます。また、新しい院長のもとでの病院の発展、そして皆様の健康をいのっております。

大変、ありがとうございました。

名誉院長 末石 眞

アレルギー外来の紹介

小児科・アレルギー科 伊藤 直香

下志津病院のアレルギー外来について、ご紹介させていただきたいと思っております。

下志津病院小児科には、現在、7名の日本アレルギー学会認定専門医が勤務しており、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、気管支喘息、花粉症、アレルギー性鼻炎などのアレルギー疾患に対して、最新の知見に基づいた専門的医療を行っております。近年、アレルギー疾患は増加しており、小児だけでなく、成人の方でアレルギーに悩まされている方も多くなっていることから、この度、アレルギー外来を新たに設け、成人の方も診させていただくこととなりました。特に、成人の方で食物アレルギーや食物によると考えられる症状で悩んでいらっしゃる方は、受診できる病院が見つかりにくいいため、そのような困っていらっしゃる方にきちんとした診断や治療を提供させていただけたらと思っております。

アレルギー疾患はよくみられる疾患ですが、それぞれの疾患をきちんとした検査や臨床症状に基づいて正しく診断し、適切な治療を行うことがとても重要です。それによって、今ある疾患の悪化を抑えることができ、さらには、新たなアレルギー疾患の発症も予防でき、日常生活をより良いものとすることができます。

食物アレルギーは、血液検査のみでは診断できず、血液検査が陽性でも食物アレルギーでないこともたくさんあります。診断には、食物負荷試験なども必要となります。ここで診断を間違えると、除去する必要のないものを除去し続けることとなり、食生活が不自由になるのみでなく、将来的な食物アレルギーのリスクを高めてしまう危険性もありますので、きちんと診断することが重要です。

皮膚の湿疹なども、その原因を検索することが大切です。湿疹の原因が食物でなくても、食物と思いついて必要のない除去を行っておられる方もよくいらっしゃいます。皮膚は体を守るバリア機能を担っていますので、なるべく早期にきちんと診断し、適切な治療で、しっかりとつるつるとしたバリア機能のある皮膚にすることが、今後の新たな病気の発症を防ぐためにも重要です。

また、アレルギー疾患に対する治療は、抗アレルギー薬などを使った対症療法が主になっていますが、免疫療法（減感作療法ともいいます）を行うことで、アレルギーの状態を根本的に改善させることができます。しかも、この治療法は、今ある病気を改善させるのみでなく、新たなアレルギー疾患の発症を予防する効果があることも確かめられています。例えば、スギ花粉症の方は、免疫療法を行うことにより、今あるスギ花粉症が良くなるだけでなく、今は発症していない他の花粉に対するアレルギーを予防できる可能性があります。花粉症の免疫療法はこれまでは注射によるものでしたが、今年の秋からは、舌下免疫療法という口の中を含む方法による免疫療法も開始される予定です。食物アレルギーにおいても、経口免疫療法という、医師の管理の下で少しずつアレルギーの原因食物を摂取していく方法によって、その食物を食べられるようになることがあります。

アレルギーの専門医だからこそできるような医療を提供してまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

下志津病院

「看護の日記念イベント」

恒例の「看護の日記念イベント」を去る5月24日（土）にイトーヨーカドー「四街道店」のご厚意により、同店2階のイベント会場で実施しました。

この「看護の日記念イベント」は、5月12日の看護の日に併せ、地域住民の皆様に看護の魅力を伝えることで看護への関心を高めていただくことを目的に平成21年度より開催しています。

今年度も「もっと健康になろう」をテーマに、健康への不安や栄養・お薬等の相談コーナーをはじめ、骨密度測定・血管年齢測定・体脂肪測定・握力測定のコーナー、そしてクイズコーナーを設けて実施しました。日頃の健康意識の高さから、例年と同様、多くの皆様にご参加いただきました。また、職員が一生懸命作った風船（バルーンアート）も、お子様に大好評でした。

「看護の日記念イベント」の実施には、医局を始め、看護部、薬剤科、臨床検査科、放射線科、栄養管理室、リハビリテーション科、療育指導室、事務部の各職場から多くの職員がそれぞれのコーナーで活躍しました。

なお、9月20日（土）にも、イトーヨーカドー四街道店の2階をお借りして「下志津病院秋まつり」（健康相談等、骨密度測定・血管年齢測定・体脂肪測定・握力測定、クイズコーナー）を実施する予定です。参加は無料ですので、多くの皆様のご参加を職員一同お待ちしております。

事務部 管理課



松尾貴臣さん

ホスピタルライブ1000回公演！当院で開催！

療育指導室

2007年から全国の病院や高齢者施設などでホスピタルライブを行っているシンガーソングライターの松尾貴臣さん。当院では2010年から、ロビーコンサートや病棟行事などで公演してくださっています。毎月第3土曜日に開催しているロビーコンサートが昨年4月に100回目を迎えた際も、ステキな歌声を披露してくださいました。

平成26年4月30日、松尾さん自身のホスピタルライブが下志津病院で1000回を達成しました。当日は多くの患者さんをはじめ、応援隊の元千葉県知事の堂本暁子さん、新聞社やラジオ局など様々な人が来院しました。ご自身の作詞・作曲された歌「絆」や皆が歌える曲を披露してください、会場は大盛り上がり！最後は1000回を記念したくす玉を割って頂き、皆で祝福をして公演は終了しました。今後も1500回、2000回と多くの皆様に『ハッピー』を届けて、また下志津病院で公演してくれることを願っています！



地域医療連携室より

6月18日（水）、第7回 下志津病院地域連携の会が行われました。

1年ぶりの開催でありましたが、地域で福祉や医療に携わる皆様61名にご参加いただき、石毛院長・山本副院長の挨拶の後、当院の感染管理認定看護師である森野さんから、感染防止対策について講義を受けました。座学だけではなく、グリッターバグというものを使用して普段の手洗いで洗い残しがあるかどうかを特別な光を当ててチェックをする、自分の結果だけではなく意見交換を行うなど、実践も含め充実した1時間となりました。アンケートでも会継続のご希望をたくさんいただき、当院が地域のお役に立てるような地域連携を今後も開催していく予定です。



<新入職員のお知らせ>

平成24年度から重症心身障害児者地域生活支援コーディネーターとして勤務させていただいておりましたが、平成26年7月から合わせて、社会福祉士として院内のソーシャルワーカー業務も担当させていただくこととなりました。MSWとしては新人です。患者様・ご家族のお役にたてるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いたします。

川口由紀子

医療福祉制度について①

～身体障害者手帳（肢体不自由）の認定基準について～

（従来）

関節に人工骨頭または人工関節を用いた場合→関節機能全廃（4級または5級）として認定。

（26年度4月より）

関節に人工骨頭または人工関節を用いた場合→障害の程度に応じて等級を決定（障害の程度によっては認定されない場合もあり）

*何かご不明な点がございましたら、医療ソーシャルワーカーまでお尋ねください。

巨木を訪ねて



大石田のおなかなし

福島県三島町の山奥の杉林の中にある。
舗装道路より、けもの道のような狭い道をたどって10分ほどで杉の木立が
そこだけ途切れている中心にそびえる。
秋には梨に似た果実がなり、皆のおなか（共同）のなしとして、親しんだと
されています。
巨大なこぶ上の出っ張りが見事です。

樹高13m、目通り周囲4.9m、推定樹齢200年

訪ね人：末石 真

【看護職員募集のお知らせ】

- 応募資格 ①平成27年3月に看護師養成機関を卒業見込みの方
②看護師の資格を有する方

- 勤務内容 病棟・外来での看護業務

【奨学金制度について】

- 対象者：正看護師養成所・学校に入学される方、または在学中の方
年間50万円 看護学校卒業後、一定期間看護師として当院へ勤務した場合、
返済が免除となります。詳しくは、当院ホームページをご覧ください。または
お問い合わせ下さい。

- 施設見学 当院見学を希望される方は下記までご連絡下さい
副看護部長 宮澤 佳子
TEL：043-422-2511（内線720）
E-Mail：fukukango@simosizu2.hosp.go.jp

外来診療担当表

受付時間

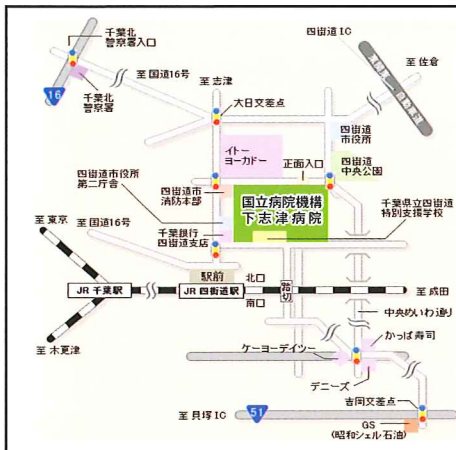
8:30~11:00

平成26年7月14日~

区分	月	火	水	木	金
内科 (アレルギー科(成人) (喘息) 睡眠時無呼吸外来※ 禁煙外来 脳神経外科 神経内科 小児神経科※ 小児科※ アレルギー科(小児) (食物アレルギー) 外科 整形外科 リハビリテーション科	杉本 古川 富澤 伊藤(AM)予約のみ 正司(PM)	山崎 篠川 古末 伊藤(AM)予約のみ	吉田 古川 富澤 末波 田中(AM)予約のみ	杉山 本篠 崎 横山(AM)予約のみ 古田(PM)予約のみ	杉山 杉本 小林(千) 本田 岩本(AM)
アレルギー科(成人) (喘息)					岩本(AM)
睡眠時無呼吸外来※			梅岡(PM) (第2・4のみ)		
禁煙外来				鈴木(修)(PM)	
脳神経外科	石毛(AM)				
神経内科		本吉 三方	本吉		本吉 三方
小児神経科※	大森		石原		
小児科※	一般 喘息・アレルギー 腎臓・肥満・代謝 西牟田 渡辺 中村 鈴木(修) 眞山	一般 喘息・アレルギー 西牟田 伊藤(AM) 松浦 佐藤 古舘(AM) 鈴木(由)(PM)予約のみ	一般 喘息・アレルギー 代謝 山本 小田 鈴木(由)(AM)予約のみ 西牟田(新患のみ) 玉地	一般 喘息・アレルギー 腎臓・肥満 小田 渡辺 中村 佐藤 須藤	一般 喘息・アレルギー 腎臓・肥満 伊藤 石原 中村 鈴木(修) 須藤
アレルギー科(小児) (食物アレルギー)		伊藤(PM)予約のみ			
外科	吉田	三上(1,2,3週) 受付11時まで 交代制(4,5週) 受付9時まで	白井	長谷川 予約のみ 白井	白井 予約のみ 長谷川
整形外科	山中 佐々木 玉井	鈴木(宗) 玉井 江口	(交代制) 初診の方のみ (9:30から診察開始)	小林(達) 遠藤 山中	鈴木(宗) 小林(達) 江口
リハビリテーション科	三方(指定する日)				

- ※ 小児神経科の初診の方
 - ※ 小児科・アレルギー科(小児)の食物アレルギーと喘息評価宛の紹介状をお持ちの方
 - ※ 睡眠時無呼吸外来は、1日5名までの完全予約制です。
 - ※ 精神科・皮膚科・循環器内科・歯科は、主として入院患者を診察しています。
- 完全予約制ですので地域医療連携室へお問合せ下さい。

- 四街道市乳児健診** 健診は第2木曜日14:00から行います。健診当日は13:15~13:45までに受付をお済ませください。予約は企画課(医事)窓口と電話にて受付しています。予約受付は、平日13:00~17:00までです。
- 睡眠時無呼吸外来** 毎週第2・4水曜日、14:30~17:00に行います。受診日の16:00までに受付をお済ませください。初診・再診とも完全予約制です。地域医療連携室にご連絡ください。
- 乳腺外来** 当面の間休診
- 禁煙外来** 毎週木曜日、14:00~16:00に行います。初診・再診とも完全予約制です。地域医療連携室にご連絡ください。



- JR 四街道駅
北口下車 徒歩8分
JR 総武本線東京駅(千葉経由)から四街道駅まで約50分
- 京成臼井駅
京成電鉄京成臼井駅から千葉グリーンバス「四街道駅行き」に乗車(約25分)「消防署前」下車、徒歩1分
- 東関東自動車道
「四街道インター」から約5分(3Km)



独立行政法人 国立病院機構 **下志津病院**

〒284-0003 千葉県四街道市鹿渡934-5
 電話: 043-422-2511 FAX: 043-421-3007
 ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~simosizu/>
 携帯サイト <http://www.hosp.go.jp/~simosizu/m/>



第16号

平成26年8月発行

発行責任者 石毛 尚起
 編集委員長 山本 重則